

大学が取りまとめて応募(学内面接なし)

**一般財団法人 シマダ未来財団
2025年度 奨学生 募集**

以下の記載事項及び先方の「募集案内」を必ずご確認ください。

【学内での手続き事項】**●学内での書類提出 … あり**

※財団ホームページに記載の締切日に関わらず、
学内提出締切日は以下の通りとします。

【学内提出先・締切日時】

学年・学部	受付校舎・時間	締切日
2年生 国際学部生・ 情報数理学部生	横浜校舎 学生課	2025/06/24(火)
	平日9:30～11:45、12:30～16:30	
	土曜9:30～12:00	
3-4年生 上記以外	白金校舎 学生課	2025/06/24(火)
	平日9:30～11:45、12:30～16:00	
	土曜9:30～11:45	

●学内面接 … なし**●必要書類**

①奨学生カード→過去に提出済の場合は更新用紙(今年度提出済の場合は不要)

※①の更新用紙は本学HPからダウンロードし、印刷・記入の上でご提出ください。

奨学生カードは、所属校舎の学生課でお受け取りください。

(URL)

https://www.meijigakuin.ac.jp/gakusei/scholarship_information/yousiki.html

②財団の募集要項を確認し、Webサイトの願書等所定用紙をご提出ください

※「作品」は任意、形式自由、返却なし

(URL)

<https://shimada-mirai.org/scholarships/>**●備考**

・2025年4月時点で東京を拠点とする大学の2年生以上の学生が応募対象となります。

・ボランティア等で地域交流活動に参加している学生や自分の専攻分野で「将来の超高齢社会の課題について
今後勉強をしてみたい」という目的を持った学生を対象としています。

不明点などありましたら、所属校舎の学生課にお問い合わせください。

2025年6月16日 明治学院大学 学生部

一般財団法人 シマダ未来財団

2025 年度奨学生募集要項

シマダ未来財団は、新しいアイデアやデザインで、超高齢社会及び社会福祉現場の課題解決を目指す次世代の人財育成と教育の発展に貢献することを目的として奨学金の支給事業を行います。

高齢者個々の生活や健康に関わる課題だけでなく超高齢社会を取り巻く社会環境の変化という観点から研究、取り組みや活動をし、経済発展に貢献したいという学生を歓迎し支援します。

(1) 特徴

- ・奨学金の返済義務はありません
- ・専攻している学部、学科は問いません
- ・成績基準、資産基準、収入基準は設けていません
- ・他の奨学金との併給も可能です

(2) 応募資格（下記の資格すべてに該当すること）

1. 2025 年 4 月時点で東京を拠点とする大学（2 年生以上）、短期大学（2 年生以上）または大学院に在籍する学生とします
2. 日本国籍を有していること
3. 学業意欲旺盛、品行方正、心身ともに健康な学生

(3) 奨学金の詳細

1. 奨学金は年額 30 万円
2025 年度は 15 名程度採用する予定です。採用予定者のほか若干名を補欠として決定し、奨学金辞退者ある場合には順に採用することがあります。
2. 奨学金の支給期間は 1 年間です。支給日は 2025 年 9 月、2026 年 3 月の 2 回（半期分ずつ）で、翌年度も継続の申請を認めます。
3. 次のいずれかに該当すると認められた場合は、奨学金の支給を停止します。
 - a. 在籍する大学・大学院の学籍を失った時。
 - b. 病気その他の事由により修学または研究を継続する見込みがない時。
 - c. 倫理に反する行為が認められた時。

- d. 奨学金申込書に虚偽が認められた時。
- e. 当財団応募資格である交流事業（年に2回程度）に参加する意思がないと認められた時。
（例：年に1回12月または2月頃の活動報告未提出、複数回連続して交流会等に不参加）
- f. 当財団が奨学金支給の継続を不適当と認めた時。

（4）応募方法

1. 奨学金希望者は、下記の書類を学校経由でご提出してください。必要書類は各大学の奨学金担当課または当財団事務局までご請求ください。また、当財団のホームページからもダウンロードすることができます。

2. 提出書類

◇必須

- a. 願書（所定用紙）、写真を貼付（上半身の近影・4.5×3.5cm）
日本語で記入してください。手書きではなくても構いません。
- b. 成績証明書1年分
学部生：前年度末までの成績証明書、院生：不要
- c. レポート（A4判用紙・記載様式自由・1200字以内）
裏面への記入不可、必ず氏名を記載してください。
＜参考＞
 - ① 自分が65歳(高齢者)になる社会を考え、調べていること・調べてみたいこと
 - ② 超高齢社会の課題解決のために実践している・したいと考えている活動
一般の人にわかるように、課題として考えていることや課題解決のための研究概要・実践活動を入れるなどして分かりやすく説明してください。
作品や制作物等、解決イメージを想起できるデータ、写真、絵画等を添えることもできます。

◇任意

- a. 作品
データ、写真、図面、絵画など、解決イメージの想起ができるもの。形式自由。写しでも可。

*上記の提出書類は返却いたしません。

（5）選考の日程

1. 出願受付：2025年4月15日～6月30日（事務局必着）
*学校経由でのご提出のため大学により提出期限が異なる場合があります。事前にご確認ください。

2. 選考：2025 年 7 月 1 日～7 月 31 日

3. 奨学生の決定と通知：8 月中旬

各大学、申込者全員宛てに郵送や E メールなどで通知します。

奨学生となるための必要書類（振込先届出書等）は各大学のご担当窓口か本人へ郵送いたします。

（6）選考の方針

- a. 学生目線で自らテーマについて考え、理想を目指す研究や実践をする学生を応援します。
- b. 高齢者個々の生活や健康に関わる課題だけでなく、超高齢社会を取り巻く社会環境の変化という観点からの研究、取組み、活動を歓迎します。
- c. 自らの活動を通し、経済発展に貢献したいと考えている学生を支援します。

（7）個人情報の管理について

シマダ未来財団は、個人情報を法令に従って安全かつ適切に取扱います。申込書類にご記入いただく個人情報は選考目的にのみ使用します。ただし、合格者については、申込書類を財団にて保管し、財団事業の基本情報として活用します。不合格者の申込書類は一定の年数財団で保管した後廃棄処分します。

募集要項と申込用紙はホームページからダウンロードできます

<https://shimada-mirai.org>

お問合せ：シマダ未来財団事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-22-7

Tel: 03-6275-2222 E-mail: info@shimada-mirai.org

(補足)

研究、活動の事例案

フィールドワーク・リサーチを中心にした実践活動が望ましいと考えています。

社会学・教育学系

○孤独高齢者のウェルビーイング（心身共に満たされた状態）を支える実践活動

・独居高齢者の住宅に下宿し、高齢者に対する「緩い」見守りをしながら、町内会と地域活動に参加し地域コミュニティ活性化活動

・地域に高齢者と子供たちの交流する居場所作り

・高齢者住宅へ定期的に訪問&イベント実施、または高齢者がサークル（スポーツや音楽・演劇）活動へ支援や参加する機会を創出

・高齢者のみの世帯のPC・スマホのトラブル、家事代行、買い物・通院付き添い等「お困りごと」支援

建築・理工・デザイン系

○高齢者のQOLをデザインやテクノロジーで支える研究・実践

・高齢者をシンプルに見守るシステムの研究

・高齢者のADLや認知機能をデザインで向上させる研究

・高齢者のADLや認知機能低下を防ぐ家具等の研究

・独居高齢者が詐欺被害にあわないような日常生活のデザイン、技術の研究

・次世代の高齢者住宅の間取りや機能の研究

・介護や高齢者住宅のイメージをプラス（魅力的）に変えるデザインやコピーの研究

・医療、介護の現場で働く人たちのサポート策（技術・デザイン面）の研究

医療・介護・福祉・家政系

○独居高齢者の生活・健康を支える活動・実践

・在宅医療の独居高齢者に対する支援活動

・高齢者へ食事の献立提案や食事作り（共同）、買い物同行等の活動

・美容・ファッション等で高齢者を元気にする活動